

# 学校だより

令和4年12月1日

狛江市立狛江第三中学校

校長 工藤 聡

電話 03-3489-5416 12月号

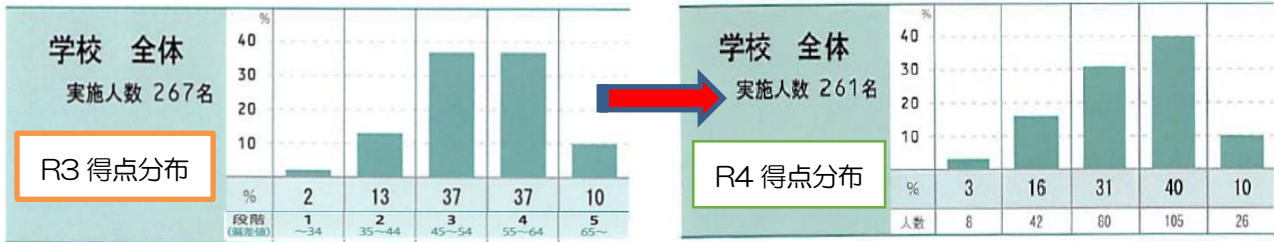
HPアドレス <http://www.komae.ed.jp/jh/03/>

← 三中ホームページで、カラー版をご覧になれます

## 令和4年度狛江市学習状況調査(NRT)の結果と学校の取組

4月に行った狛江市学習状況調査 NRT(全国標準学力調査)の結果から本校の学習状況の大まかな傾向と課題をお伝えし、学校が行っている取組について説明します。

学習状況と学力の傾向について NRT (全国標準学力調査≪4月実施≫)の結果をご覧ください。



≪考察≫昨年同様3段階、4段階の得点をとる生徒が多いことがわかります。どの学年も落ち着いた状態で授業に取り組み、学力の安定した積み上げがなされ、一定水準以上の学力定着が実現しています。

### 学力の成果と課題

【成果】都や全国の数値よりもほぼすべての領域・観点で上回っている。

【課題1】「学びに向かう力」を高め、学力の個人差をどう狭めていくか。

【課題2】表現力をさらに高め、思考力・判断力の質をどう高めるか。

≪領域別集計結果≫：※領域とは「学習内容のまとまり」をいいます。

	国語		数学		英語	
	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比
1年	1 話すこと・聞くこと	107	1 数と式	108	1 聞くこと	110
	2 書くこと	97	2 図形	113	2 話すこと	106
	3 読むこと	103	3 関数	107	3 読むこと	122
2年	1 話すこと・聞くこと	105	4 データの活用	108	4 書くこと	114
	2 書くこと	103	1 数と式	110	1 聞くこと	112
	3 読むこと	108	2 図形	115	2 話すこと	107
			3 関数	113	3 読むこと	108
3年			4 データの活用	121	4 書くこと	127
	1 話すこと・聞くこと	101	1 数と式	112	1 聞くこと	113
	2 書くこと	112	2 図形	108	2 話すこと	107
	3 読むこと	106	3 関数	120	3 読むこと	111
		4 データの活用	97	4 書くこと	119	

≪観点別集計の結果≫：※観点とは文科省が示す資質・能力を指し、第一・第二観点のことです。

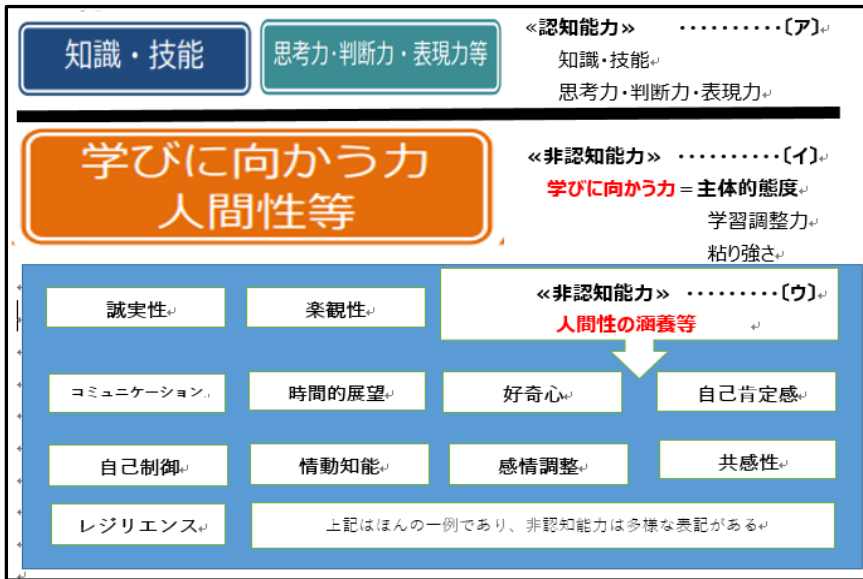
	国語		数学		英語	
	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比
1年	1 知識・技能	101	1 知識・技能	106	1 知識・技能	109
	2 思考・判断・表現	105	2 思考・判断・表現	112	2 思考・判断・表現	120
2年	1 知識・技能	105	1 知識・技能	116	1 知識・技能	110
	2 思考・判断・表現	106	2 思考・判断・表現	111	2 思考・判断・表現	115
3年	1 知識・技能	99	1 知識・技能	104	1 知識・技能	110
	2 思考・判断・表現	111	2 思考・判断・表現	118	2 思考・判断・表現	114

◎全国の正答率を100とした時の指数です。

《考察》 領域・観点別とも都や全国の平均値を上回っており、表現力が豊かな生徒が育っています。教員が異口同音に指摘するのは、論理性などの思考力をどう高めるか、また、基礎的・基本的な知識・技能の習得に個人差の問題をどう解決するかです。

## 本校の学びに向かう力を高める取組について

文科省のホームページ資料を見てみると、『資質・能力』の三つの柱のうち、「学びに向かう力、人間性の涵養等」は生徒が「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」に関わる資質・能力であり、他の二つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素です。』と説明されています。（図参照）生徒が学習に集中するには教える技術だけでは限界があります。「学びに向かう力」をアップする工夫が必要です。これについては各教科でも学校全体でも工夫が始まっています。



《図〔ア〕》  
IQ や学力テストなど点数化しやすい認知能力です。

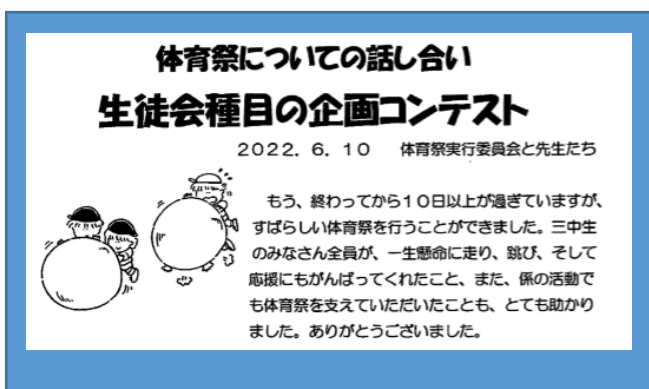
《図〔イ〕》  
「学びに向かう力」は非認知能力です。自分で学習を調整しながら、粘り強く取り組む態度があればあるほど、他の二つの柱は伸びていくという関係性があります。

《図〔ウ〕》「人間性の涵養等」は《図〔イ〕》以外の非認知能力（スキル）です。測定できない個人の特性による能力のこと全般を指します。「長期的目標の達成」「他者との協働」「感情を管理する能力」の3つの側面に関する思考、感情、行動のパターンであり、学習を通して発達し、それぞれの人生や社会の発展にも関係します。

生徒が幸福になるための土台となる非認知能力

## 非認知能力をどう伸ばすか、学校の取組を紹介

本校ではこの非認知能力を伸ばすために、教科授業の他、Q-U や自尊感情調査などを行い、これらの力を伸ばせるようにしています。今年は狛江市の研究奨励校として：「協働的に問題解決を図るための話し合い活動の充実」と題し、コミュニケーション能力の育成を研究しています。（※2023年2月7日発表予定）



【文責：副校長 伊地知俊二】